



南部営農センター
東郷営農事務所
山口 堇



訪問日：7月24日

ナスの防除について

東郷産直友の会会員の成島康夫さんの圃場を訪問しました。当日はナスやピーマン、ブルーベリーなどを収穫していました。

成島さんは、年間を通してサトイモやミカンなど30種類以上の農作物を栽培しており、豊明・東郷グリーンセンターLove it TO²や地元の学校給食へ出荷しています。



ナスの生育を確認したところ、**テントウムシダマシ**を確認しました。名前のとおりテントウムシに見た目が似ていますがアブラムシを食べる益虫のテントウムシとは異なり、ツヤのない体に多

数の黒い星がある草食性害虫です。葉をさざ波状や網目状に食害し、進行すると果実にも食害痕を残して商品価値を著しく低下させます。



▼被害拡大を防ぐため、適切な薬剤散布を提案しました。

テントウムシダマシ被害対策



ダントツ水溶剤

- 希釈倍率：2000～4000倍
- 使用時期：収穫前日まで
- 使用回数：3回以内



アディオン乳剤

- 希釈倍率：2000倍
- 使用時期：収穫前日まで
- 使用回数：3回以内



▲ツヤがなくしわになったナス

また、ナスの品質向上のため**水管理の重要性**について説明しました。ナスは1日1株当たり3～6Lもの水分を必要とするため、水不足になると皮のツヤが失われ、果肉が硬化する可能性があります。**見た目・食味とも優れたナスを収穫するため、気温が上がる前の早朝に十分な灌水**を行うよう指導しました。

今後も高品質な農産物を安定して出荷できるよう、圃場巡回と営農指導を継続していきます。